

アライグマと間違えやすい動物たち

①体色は黒っぽい灰色か黒茶色:アライグマ、ハクビシン、タヌキ



アライグマ



ハクビシン



ホンダタヌキ



★ アライグマ *Procyon lotor* 尻部分が丸く、頭を下げて歩く。尾のシマがはっきり分かる。少し茶色がかった個体もある。手足の指は5本、指が長く、木登りが上手い。人家や社寺の屋根裏に入り込み溜め糞をし、天井裏を汚損する。体重は3~12kgほど。特定外来生物。



★ ハクビシン *Paguma larvata* 鼻筋がはっきりと白く、体は黒灰色。体は細長く、尾は長い。大型のネコくらいの大きさと2~3.5kg。手足の指は5本。木登りが上手い。アライグマ同様に人家や社寺の屋根裏に入り込み溜め糞をして、天井裏を汚損する。東南アジア原産の外来種。



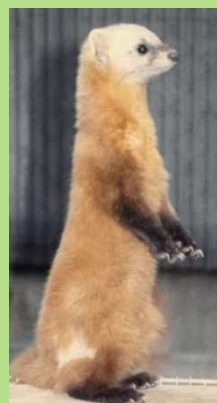
★ ホンダタヌキ *Nyctereutes procyonoides* ずんぐりした体で中型犬くらいの大きさ。4~8kg。尾にシマが無く、ひげと耳の縁が黒いことでアライグマと区別できる。手足の指は4本。木に登らない。地面に穴を掘り、人家の床下から出入りすることがある。庭の地面など開けたところに溜め糞をする。在来種。

②体の色が明るい茶色か濃い茶色:アナグマ、テン、イタチ

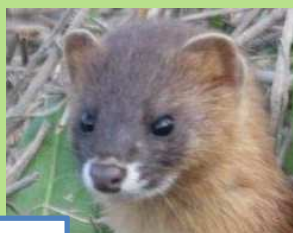
★ニホンアナグマ *Meles meles anakuma* 明るい茶色からやや黒っぽい個体もある。鼻筋が白い。木に登らない。在来種。

★ニホンテン *Martes martes melampus* 木登りが上手い。果実を好む。在来種。

★イタチは西日本の都市部や農村部ではチョウセンイタチ *Mustela sibirica* が多い。木登りが上手く、しばしば人家周辺や屋根裏に入り込む。対馬以外のチョウセンイタチは外来種。



イタチ



ニホンアナグマ



ニホンテン

アライグマを見かけたらすぐにお知らせください



威嚇



コドモたち

アライグマ(*Procyon lotor*)は北米原産の食肉目アライグマ科に属する中型の哺乳類です。オトナの体重は3~12kgほどで、中型犬ほどの大きさ。年1回、4月~5月に平均4頭のコドモを出産します。活動は夜間が多いですが、人慣れすると昼間でも普通に行動します。

アライグマは「外来生物法(特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律)」(2005年施行)の対象で、輸入、販売、移動、飼育が規制されています。「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」の対象でもあるので、許可なく捕獲することは禁止されています。アライグマを見かけても近寄ったり素手で捕まえようとすると危険。餌を与えるのも危険です。また、危険な病原体を持っているので、捕獲をし、野外からいなくすることが必要です。アライグマを見かけたらすぐに役所にご相談ください。



柱を登る



柱に残った爪痕

アライグマの特徴

全体が黒灰色か黒茶色。サングラスをかけたような黒い模様が目のまわりにあります。鼻筋が黒くひげは白く、尾にシマがあります。木や柱を登るのが上手く、人家や社寺などの屋根裏や資材置き場、木のうろなどを巣にし、休憩や子育てをして、屋根裏で多量の溜め糞や尿をします。子供にも尾にはっきりしたシマ模様があります。社寺の屋根裏に侵入して文化財などの建造物を破壊する例が多数あります。



オトナのアライグマ



板壁に残った5本指の足跡

アライグマによる被害



スイカに歯と爪で穴をあけ(左写真) 手を入れて中身を取り出す(中央写真) アライグマの食べあと(右写真)



ブドウの被害(左写真) トウモロコシの被害(中央写真) イチゴの被害、足跡が残っている(右写真)



養鶏場の鶏を襲うアライグマ



一休和尚の絵に穴 絵:大徳寺真珠庵蔵



神社の檜皮葺の屋根にいるアライグマと屋根の穴



檜皮葺の屋根の穴から顔を出すアライグマ

アライグマのチェック シート

該当する内容が1 つでもあったら、アライグマが来ていたり、住み込んでいる可能性が高いのでご注意ください。アライグマを目撃したり、天井裏で大きな足音が聞こえたら、市町村担当課や地域の担当者と相談し、なるべく早く対策をとりましょう。

身近まで来ている可能性があります！！

- 建物のまわりや側溝、池、川などに5本指の足跡がある。
- 庭にある果樹が荒らされた。
- 池の金魚、鯉、亀、軒下のツバメの雛がいなくなった、食べられた。
- 毎年、姿を見せていたモリアオガエルやサワガニが極端に減った。
- 田んぼの畦が数カ所掘られている。
- 飼い犬や飼い猫のエサが食い荒らされる。
- 中型犬くらいの動物が屋根の上で動いていた。
- タヌキのような動物を目撃したが、尾に輪模様があった。
- 冷蔵庫の中が何者かに荒らされた。
- お供えの饅頭、米、果実が食べられたり荒らされたりした。
- 室内やお堂の内部のろうそく立てなどが倒され、荒らされた。

畑を荒らしているのはアライグマかも！！

- 田、畑、ビニールハウスなどに5本指の足跡がある。
- スイカに丸い穴が開いて中身が空になっていた。
- トウモロコシが根本から倒され食べられた。
- ジャガイモ、イチゴなどに今までなかったような農作物被害がある。

家や空き屋、社寺に住み込んでいる可能性があります！！

- 建物のまわりに5本指の足跡がある。
- 柱に5本の爪痕があり、上部に向けて登っている。
- 柱や戸袋、雨樋に5本指の泥のついた足跡があり、上部に向けて登っている。
- 軒下の壁の一部が破壊されている。
- 天井板がずれていた。
- 天井にシミができた。
- 天井から雨漏りのように水滴が滴ってくる。
- 天井裏でこれまで聞いたことのないような大きな足音がする。
- 天井裏からクルクルという、甲高い鳥のような声が聞こえる。
- 天井裏に犬の糞のようなものが大量にある。

アライグマにお困りの方は関西野生生物研究所(090-6076-7655 chipmunk@k-marumie.com)にご相談ください(ご相談無料)。または市町村役場にご相談ください。

作成 関西野生生物研究所 www.kansaiwildlife.com 写真・資料提供 川道美枝子 三宅慶一 鱸 雅哉